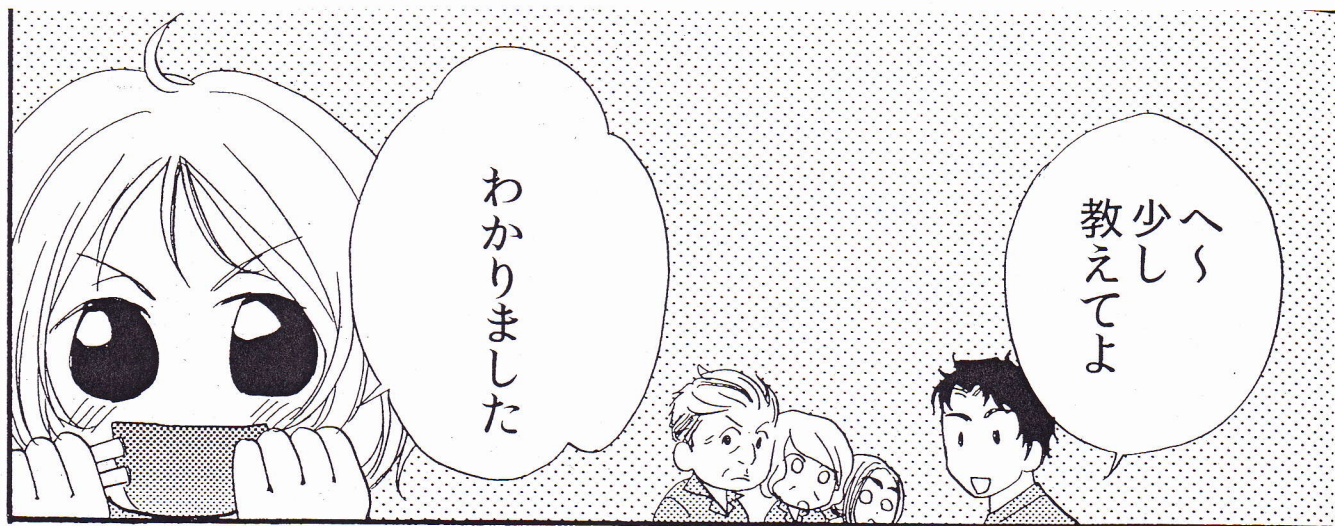
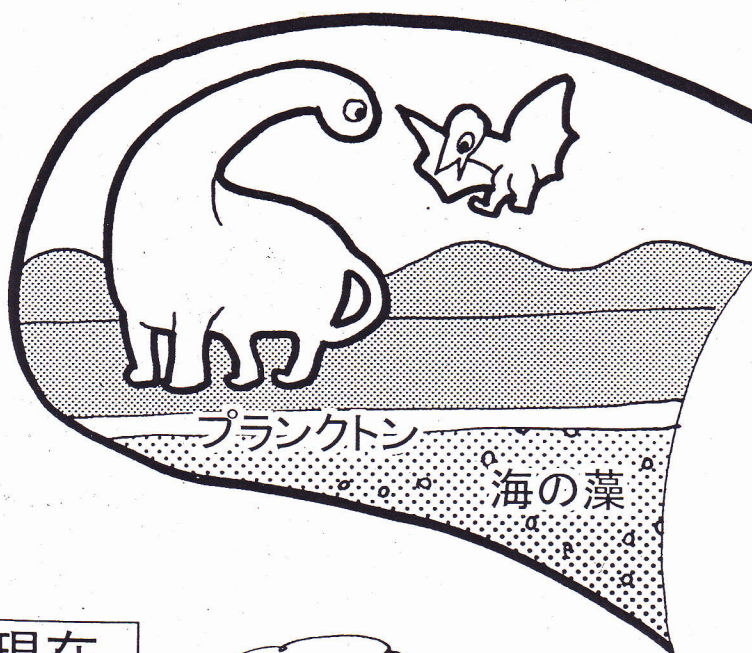




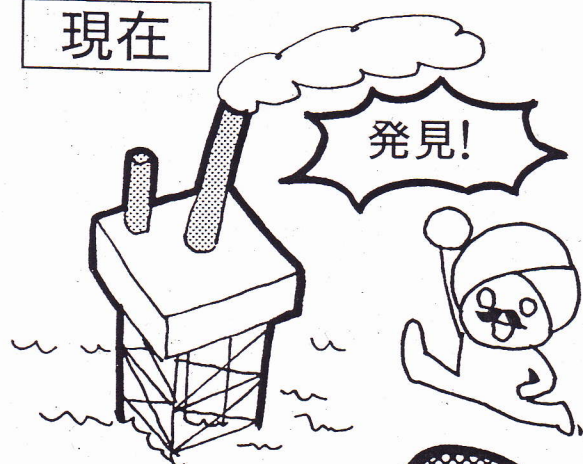
1~2億年前 恐竜の時代



プラスチックは
もともと**石油**から
できているんです

石油の元は
地球に恐竜がいた頃の
プランクトンなどが積み
重なっていき変化して
出来上がるんです

現在



主な産出国
サウジアラビアなどの中東
インドネシア

原油

精製前の石油

原油から余分な物質を
取り除いて精製したのが
石油
つて言うんですよ

長い年月

原油は色々な物質成分が交じり合ってきた混合物で、はじめはドロドロの黒い液体なんです

運ばれてきた石油を約350℃に熱し、温度の違いを利用して石油を分別します

油田

原油

蒸留塔

気化

LPガス

ガソリン

35~180℃

ナフサ

灯油・ジェット燃料

170~250℃

軽油

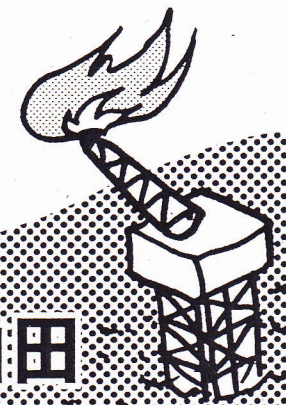
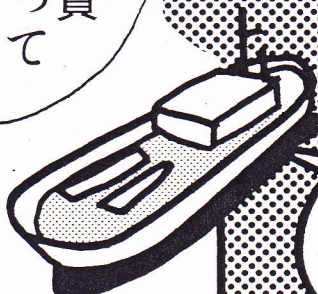
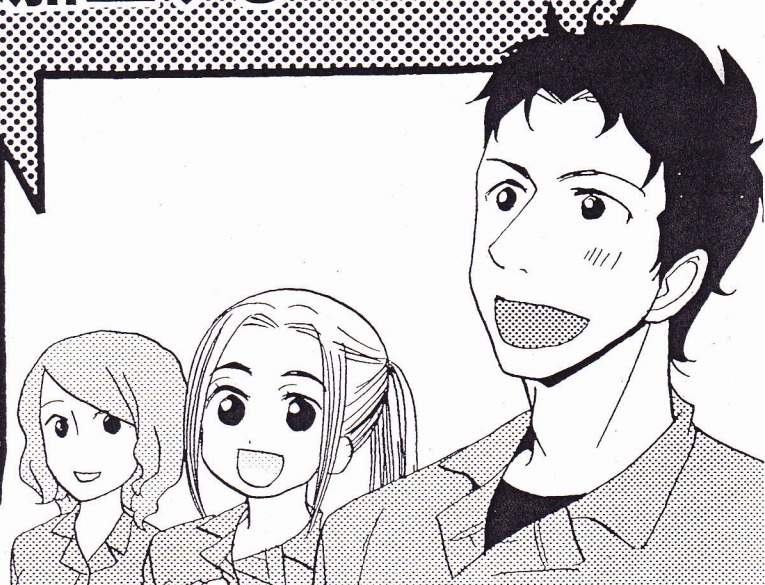
240~350℃

重油

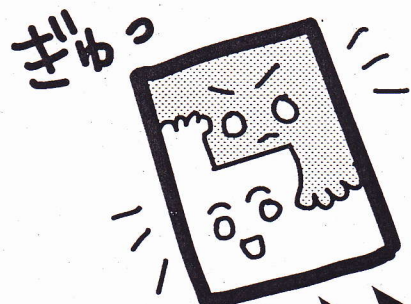
350℃~

石油コンビナート

加熱して加工する



そして、
圧力や熱などを加えると
分子同士くっつき
ペレットになります



ここでできたナフサが
プラスチックの材料の
元になるものです
これを化学反応でもっと
分解していきます

ナフサ分解炉では
約800℃の水蒸気を使い
熱分解反応をさせます
化学反応したナフサは
分子になっていくんです

分子になったナフサは
気体になります
それを取り出したものが
石油化学基礎製品です

ナフサ分解炉

- ・エチレン
- ・プロピレン
- ・ブタジエン
- ・ベンゼン
- ・トルエン
- ・キシレン

せきゆかがくきそせいひん
石油化学基礎製品

ふむ

勉強熱心
だなあ
こはくちゃん

えっ